

第7回安曇野市環境審議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|----------------------------------|
| 1 | 会議名 | 第7回安曇野市環境審議会 |
| 2 | 日時 | 平成30年3月22日(木) 午後1時30分から午後3時00分まで |
| 3 | 会場 | 本庁舎 共用会議室 306 |
| 4 | 出席者 | 環境審議委員 10名 |
| 5 | 市側出席者 | 市民生活部 宮澤部長、環境課 久保田課長、蓮井係長、藤森係長 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 1名 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成30年3月26日 |

協議事項等

【進行表】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 審議・報告事項
報告事項(1)安曇野市第2次安曇野市環境基本計画
審議事項(2)安曇野市環境行動計画について
報告事項(3)安曇野市生きもの調査の実施について
報告事項(4)安曇野市空家等対策計画について
(5)その他
4. 閉会

【議事】

- 報告事項(1)安曇野市第2次安曇野市環境基本計画
審議事項(2)安曇野市環境行動計画について

<環境課から説明>

<質疑>

(委員)3 ページに環境指数とあるが、誤植ではないか。

(環境課)環境指標の誤りである。

(委員)3 ページの重点取組みに10項目上がっているが、もともと12項目で、「山岳地をまもる」と「公害・化学物質などの問題をなくす」の2項目が抜けているが、意識して抜いたのか。

(環境課)進行管理の関係から、目標数値が立てられるものとしている。数値での進行管理 PDCA が難しい2項目は除いた。

51ある重点目標のうち、27項目を選ばせていただいた。公害や空気、静かな環境、化学物質については、今の安曇野市としての課題は、悪臭防止法に係る臭気指数、空家に関してさらに重点とした。今後も柔軟に見直しを行っていくので、新たに重点な取り組みとして行動計画に掲載しなければいけない部分は、追加、修正していきたい。

(委員)4 ページの12番までと13番以降の違いは、それぞれに委員会があるかないかということか。

(環境課)仰る通り。13番以降については、各分野の計画について、計画の進捗管理を行っている委員会や審議会があり、その有識者会議で審議されたものを、1～12番までは委員会や審議会がないの

で環境審議会でご審議いただくということになる。

(委員)我々は1～12番までを審議する。以降は各委員会が審議したものが報告されるということでしょうか。

(環境課)PDCAシートにあるとおり、報告をいただいて終わりではなく、審議会が意見を述べる形になっている。

(委員)5ページの最後に、委員会があるものとないものというような注意書きを入れた方が分かりやすいのでは。

(環境課)4ページの上段にその内容を記載してある。

(委員)あれば良いです。

(委員)26ページの図の中に、各委員会は位置づけてあるか。

(環境課)図内に記載してない。追加します。

(委員)点線内の市の中に入るといいか。

(環境課)仰るとおり。

(委員)17ページ太陽光発電について、補足された内容をもう一度教えてほしい。

(環境課)2020年に改正省エネ法が完全施行になる。それに合わせて、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の実現が求められている。2030年には新築家屋の100%となるよう、国の施策がある。そうすると、新築のほとんどに太陽光が載る。導入についての補助をしなくても付けられるようになるという判断で今後の補助を考えていきたいということ。

(委員)既存住宅はどうなるのか。

(環境課)既存住宅への補助は2020年までと考えている。また、松本市では、本年度から、地球温暖化補助事業を行っている。太陽光の他に太陽熱、断熱材、LEDを導入した住宅に対して補助金を出している。安曇野市としても断熱材等を含めた中で考えていきたい。

(委員)既存の太陽光も10年を過ぎると売価の見直しを迫られている。1キロワット48円の売価が0円になる、などということがこれから出てくる。行政として、サポート策などを提案してほしい。

(環境課)アンケートを行い、ご意見を伺う中で、対応させていただきたい。売価が下がる中で、経済産業省の蓄電池への補助など、どう支援するのか全体的動きを見ながら考えていきたい。

(委員)困る人が増えてくるので考えていただきたい。

(委員)生物多様性アドバイザー会議について教えていただきたい。

(環境課)昨年の4月からアドバイザーという制度を設け、各有識者に入っている。行政が分からない専門性について助言いただいている。

(委員)1番の取組みはアドバイザー会議で審議すればよいのでは。

(環境課)審議をするのではなく、アドバイスをいただく会議である。開発する場所に希少生物等があった場合に、保護する方法等の専門的なことについてアドバイスを受ける。

(委員)4ページ、9番の地球温暖化の取組みの「見える化」の促進について、地下水の可視化の前提が素人にはわからなかった。9番の見える化については、だれが見てもわかる前提で、進めていただきたい。

(環境課)承知した。

<環境課から説明>

<質疑>

(委員) 前回5年前は報告が少なかった。特に平野部が少ない。ぜひご協力いただきたい。

(委員) 前回は何件くらいだったのか。

(環境課) 参加者、団体は60人程度。報告数は700件ほどであった。

(委員) 小学校等に配布すればよいかと思う。

(環境課) 4月に入ったら、プレ講座と自然観察会に合わせて学校に配布を予定している。

(委員) タンポポについて西洋タンポポとシナノタンポポの交雑が最近多くなっている。そこをクロージアップして作られているため、すごいと思った。

(委員) 大勢の方に参加してもらうためにはどうすれば良いか。

(委員) 小学校の理科の時間や総合の時間に充ててもらい、1回でも取り組んで、観察してもらえれば、楽しそうだし、興味もわくと思う。

(環境課) 学校へは、参加していただくようお願いしていく。

報告事項(4)安曇野市空家等対策計画について

<環境課から説明>

<質疑>

(委員) 安曇野市の空家は、全国的に比べるとどのくらいのレベルにあるのか。

(環境課) 空家の数がしっかり把握できていない。25年には利活用を除いた、管理不十分な空家調査の結果202戸と極めて少なく、実態がつかめていないため、30年度に実態調査を予定している。全国的に多いか少ないかわからない。

(委員) このような計画が出てくるということは、何か困ったことがあるのか。

(部長) 高齢化が進み、空家問題が区としても大きなテーマになっている。少なくとも地域の課題のトップ3には入ってきている。平成30年度より市の区長会としても空家対策に積極的に取り組んでいこうということなので、市から実態調査をお願いする中で、ご相談させていただければと考えている。

(委員) 空家の定義について聞きたい。

(環境課) 管理していても1年以上居住の実績がなければ空家である。また、古民家も含めて調査を行い利活用できるかも含めていきたい。

(委員) 18件解決済みとのことだが、固定資産税を納めていないことで解決に繋がったということか。

(環境課) 空家の苦情の大半は草木繁茂。17件のうち9件解決した。害虫の発生は7件のうち5件解決。家屋の損壊、倒壊の危険が4件のうち1件解決など、原因は様々である。相談が寄せられた場合に、税務に照会し、固定資産税の情報を頂けるようになったということ。

(5)その他 穂高墓地公園 合葬式墳墓について

<環境課から説明>

<質疑> なし

午後3時 議事終了

閉会

